

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第254回

大地真央

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和3年6月1日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

落ち込むこともありますが、
あえて笑顔を作るようにすると
前向きな気持ちになれる。



大地 真央は、日本の女優。元宝塚歌劇団月組トップスター。 戸籍名: 森田 真裕美、旧姓: 多田。兵庫県洲本市出身。身長 166 センチ、血液型 B 型。愛称は真央、マミ。

Column

元宝塚トップスターとしても非常に有名であり、みなさんも観たことがあると思いますが、某企業の『そこに愛はあるのか?』というセリフが大好評のCMシリーズに出演している名実ともに優れた女優です。

彼女の最大の魅力は、やはりCMのように“何でもチャレンジ”の姿勢ではないでしょうか。いわゆる“大御所”と呼ばれる地位にまで上り詰めた大女優がパロディにも全力というのは誰にでもできることではないと思います。そして、還暦を過ぎても全く色褪せない美貌は女性の憧れと言っても過言ではないでしょう。

宝塚という、ある意味“修羅場”をくぐり抜けただけでなく、トップにまで上り詰めたことは本当に彼女の才能と努力の賜物だと思います。そして、想像を絶するほどの苦労があったことも想像できます。苦しい時も休んでられないようなシビアなライバル争いの中、今回の言葉のように“作ってでも” 笑顔を絶やさないようにしたところは紛れもなく『プロフェッショナル』だと尊敬します。

今回この言葉を紹介した理由は、『苦しくても弱音を吐くな!』ということではなく、本当の理由は、『仲間の笑顔の理由(本音)を理解しよう!』ということです。大丈夫ではない時にも相手を気遣って大丈夫だと言った経験はありませんか? 人間関係を円滑にするためには“我慢”も当然必要です。大人になればなるほどそういうことを求められる瞬間が増えていきます。『言ってくれたらよかったのに…』と言われることもあると思いますが、人それぞれ性格もあり、誰もが思ったことを全てオープンに発信するという事は難しく、実現した場合には言い争いなどの新たな問題が発生すると思います。“思いやり”が大切ですね。

敢えて笑顔を作っても前向きな気持ちを作る努力ができる素晴らしい『人間力』を育む舞台は、おそらく日本では学校以上のものはないでしょう。その学校を、さらにもう一段階上の“心から笑える社会を作る人間形成”を目指す舞台である正智深谷高校、正智深谷高校の生徒でありたいものですね!